



株式会社 福岡リアルティ

【PRESS RELEASE】

2009年10月8日

各位

## 「有限責任事業組合 福岡都市成長戦略プロジェクト」設立について

「暮らしやすいといわれる福岡が、今後快適さだけでなく、都市としてさらに成長するためには何が必要なのか。」、この答えを導き出し、実現化への道筋をつけることは、福岡リート投資法人の将来の成長をさらに加速させるものと考えております。

上記認識のもとに、福岡リート投資法人の運用会社である株式会社福岡リアルティは、九州大学大学院経済学研究院の星野教授を初めとする4人が共同出資する「有限責任事業組合 福岡都市成長戦略プロジェクト」に、福岡の都市の将来像構築についての研究の業務委託（研究費の拠出）をするとともに、研究員として7人程度を参画させ、本プロジェクトを全面的にバックアップいたします。

記

### I. 「福岡都市成長戦略プロジェクト」の目的・考え方

#### I-1. 「福岡都市成長戦略プロジェクト」の趣旨・目的

福岡は東アジアと歴史的・文化的なつながりが非常に深く、そのなかで多様な交流・連携を展開することで発展をしてきた地域である。福岡が、今後も確固たる拠点性を築いて、世界の関心をひきつけ、今後も長期にわたり発展を遂げて存在感を示していくためには、就労環境も含め、安心安全に暮らせる環境を作り上げることが必須であり、そのための課題は山積している。山積する課題を一つ一つ分析するなかで、ひとつでも多く実現化への道筋をつけるとともに、福岡を言い表せる、魅力あふれる「キーワード」を見つけることも一つの目的とする。

#### I-2. 「福岡都市成長戦略プロジェクト」の考え方

この「福岡都市成長戦略プロジェクト」は、大きく2つのステップに分けて進めていく。

第1ステップでは、福岡の課題を把握し、課題克服のための実行プランを設定する。課題の確認に当たっては、既存各種レポートや文献の読み込みを前提とし、福岡の歴史的背景も視野に入れて確認を行う。

課題の確認作業と並行し、福岡のモデルとなりうるベンチマーク都市（バンクーバー、ハンブルク、バルセロナ等）を設定し、多様な角度からデータ分析や歴史的背景等（如何にしてベンチマーク都市が拠点性や魅力を持ったか）を比較検証する。

上記2作業を通じて、福岡の課題克服の実行プランを描くとともに、「キーワード」を設定し、多角的に情報発信を行う。

第2ステップでは、第1ステップで設定した実行プランに基づき、課題克服のための行動に移る。実践に際しては、時間軸の設定も適切に行い、適宜見極めを行っていく。

## II. 都市経済研究の組織・運営等

### II-1. 「福岡都市成長戦略プロジェクト」の組織設定

上記 I の問題意識をもって、プロジェクトに参画する教授陣の自由な発想を最大限活用すべく有限責任事業組合という枠組みを使った組織を設定する。

具体的には、「有限責任事業組合 福岡都市成長戦略プロジェクト」を設立し、このプロジェクトの受け皿とする。設立は 2009 年 10 月 13 日の予定。

この有限責任事業組合は、九州大学大学院経済学部教授である星野教授を座長とする 4 名の共同出資により設立され、株式会社福岡リアルティは、この有限責任事業組合に対し業務委託（研究費の拠出）を行う。更に、株式会社福岡リアルティは、研究員としても本プロジェクトに参画することにより、全面的サポート体制をとる。

有限責任事業組合は、株式会社福岡リアルティと共同で第 1 ステップの成果物の情報発信の中心として、第 2 ステップの課題克服プラン実行の中心として存在し、「キーワード」の伝播にも尽力する。

### II-2. 「福岡都市成長戦略プロジェクト」メンバー

(組合員)

【座長】 星野 裕志	九州大学大学院経済学研究院 教授
横山 研治	立命館アジア太平洋大学国際経営学部 学部長
坂口 光一	九州大学大学院工学研究院 教授
岡田 昌治	九州大学知的財産本部 国際産学官連携センター 国際法務室 室長

(プロジェクトメンバー)

株式会社福岡リアルティより 7 名程度

## III. 今後のスケジュールイメージ

2009 年 10 月～2010 年 3 月	第 1 ステップ
2010 年 4 月～	第 2 ステップ

福岡市博多区住吉 1 丁目 2 番 25 号  
株式会社福岡リアルティ  
代表者名 代表取締役社長 茶木 正安

問い合わせ TEL. 092-272-3900  
企画部部长 上田 真也